

学報



2018年5月 Vol. 729

平成30年度入学式を挙行

平成30年度入学式を挙行	01
平成30年度連合農学研究科・連合獣医学研究科入学式を挙行	07
応援奨学生決定通知書交付式を実施	10
サラマンカ大学, 岐阜薬科大学, 岐阜大学三大学連携学術シンポジウム 「がん研究の最前線 ～がん克服に向けて(対がん)～」を開催	11
岐阜大学, 岐阜薬科大学, サラマンカ大学の三大学間で学術連携基本協定を締結	13
教育学研究科1年 小長谷 研二さん 日本選手権 50m 平泳ぎで4位入賞	14
平成30年度第1回学長記者会見を実施	15
平成30年度岐阜大学海外留学フェアを開催	16
工学部化学・生命工学科の成瀬 有二准教授らのグループが, 平成30年度科学技術分野 の文部科学大臣表彰「科学技術賞」を受賞	17
岐阜大学学生レポートコンテスト表彰式(平成29年度分)を開催	18
平成29年度岐阜大学 TOEIC スコアアッププロジェクト認定証交付式を実施	20
プログラミング教育の人材育成するプロジェクトを開始	21
第1回 国際協働教育部門セミナー『JD 専攻の魅力』を開催	22
平成30年度第2回学長記者会見を実施	23
学位授与	24
叙位・叙勲	25
表彰受賞者	26
外国人研究者の受け入れ	27
産官学連携の実施状況	28
メディア掲載一覧	29
諸会議	34
主要日誌	36
人事異動(学内限定)	37

平成30年度入学式を挙行

本学は、4月7日（土）、平成30年度入学式を長良川国際会議場にて行い、学部学生1347名、大学院学生610名が入学した。

学部入学生への告辞で森脇学長は「広く日本社会にも、国際社会にも貢献できる人材になる」という志を抱いて頂きたい、大学院入学生には「高度職業人として自分の将来をしっかりと見つめる、あるいは研究者を志向し、しっかりと夢を持ち続ける、そんな大学院生として岐阜大学を楽しみ、かつ利用して頂ければ」と激励した。

式典では、学部入学生を代表して地域科学部の松浦 有真さん、大学院入学生を代表して、工学研究科の山田 勇介さんがそれぞれ宣誓を行った。

地域科学部の松浦 有真さんは「学業や研究に専念し、輝かしい未来に向かって、日々努力をする」ことを宣誓した。



学長告辞



学部入学生宣誓



入学式の様子



管弦楽団の演奏の様子

学長告辞

平成 30 年度岐阜大学入学式

新入生の皆さん。入学おめでとうございます。本日、1,347 名の平成 30 年度入学者をキャンパスに迎えることは、私どもにとってこの上ない喜びであり、岐阜大学教職員を代表して心から歓迎します。入学の喜びと勉学の意欲に燃える皆さんのフレッシュさを私どもも頂戴し、一緒に新たな勉学の場につくことができるという嬉しい気持ちで一杯です。またこの場をお借りして、今日まで諸君を支えて下さった皆様方にも衷心よりお祝い申し上げます。

さて告辞を始めるに当たりまず、大学における学修とは何か、また大学生として心がけて頂きたいことは何かを幾つか申し上げます。

まず勉強の仕方がこれまでとは全く違うことをしっかり認識して下さい。高校までは学校でした。今日からは大学です。これまででは授業でした。今日からは講義です。諸君もこれまででは生徒でした。今日からは学生です。ではどこが違うのか。これから諸君が学ぶのは既存の学問体系に加え、教授陣が個別に血の出るような努力を重ね築いてきた、個性的な自然科学体系であり、人文科学体系であり、社会科学体系です。諸君はそれらを学んだ上で、自分自身の科学体系を、すなわち物事の考え方を独自に構築していく、これが大学での勉強になります。

このことに関連して申し上げたいのは、とくに一年生での勉強が極めて重要であるということです。これまでとは異なった勉強の習慣と方法を身につけるのは一年生です。実際、卒業時の成績は一年前期・後期の成績と一番強く関連します。大学に入ったからと言って緩むこと無く、一年次導入教育から全力で励んで下さい。

また、そのような勉強を行う上では基礎的な素養が不可欠であり、それらを修めた上で大学における本来の高等教育、高度専門教育を受けるものとされます。この基礎的な素養がリベラルアーツであり、たとえば欧米の古い図書館などでホールの上空高く羽ばたく 7 体の女神像で現されます。極めて古典的な用語を用いれば修辞学、文法学、天文地理学、論理学、代数学、幾何学、芸術の 7 つと、全体を統括する哲学です。もちろん現在これらを直接標榜する科目は少ないでしょうが、高度専門教育と合わせ、リベラルアーツも修めるという目標を心がけて下さい。次に述べる社会人としての存在そのものの根幹になります。

すなわち、諸君はすでに選挙権を有する社会人であり、**lady** あるいは **gentleman** です。大学における勉学はそのような社会人として自分の責任においてなす行動です。大学の新入生としてキャンパスに入った段階で、私どもはもちろん社会も、諸君を **ladies and**

gentlemen として見、また期待をします。大学とそのあとに続く社会で諸君は lady あるいは gentleman であるべく、あらゆるチャンスをとらえ努力を積み重ねていってほしいと思います。

次にテーマを変え、岐阜大学の歴史を紹介し、少し自慢させて頂いた上で、皆さんが卒業し、社会で中堅として活躍するに至る、ほぼ 10 年先までの大学の将来計画を申し上げます。岐阜大学の創立は受験資料などでは 1949 年になっています。しかしそれぞれの学部は古い由来を持ち、中でも教育学部の前身である岐阜師範学校は明治 7 年、1873 年の創立で先年 140 周年の記念式典が行われました。ここまで遡ると我が国で 4 番目に古い大学として位置づけられています。さらに応用生物科学部も 1923 年（大正 12 年）創設と大変古い歴史を持っています。工学部、医学部はいずれも昭和 10 年代です。このような歴史を伝えるソフト、ハード両方のアーカイブが学内のみでなく市内にも残されていますので、何れ探訪して頂くことも楽しいかと思えます。

次に 2025 年をターゲットとした岐阜大学の将来ビジョンが式次第に折り込んでありますのでご覧下さい。最も大事なストーリーをお話しします。まず岐阜大学は「地域活性化の中核拠点であると同時に、強み・特色を有する分野において全国的・国際的な教育・研究拠点の形成」を目指します。折り込みにある大きな 5 本の円柱がそのための基本戦略であり、それぞれの下に具体的な取り組みが記されています。自分が所属する学部の将来ビジョンを後ほど確認して下さい。まず地域活性化の中核拠点は全学を横断する組織である地域協学センターが担い、地域貢献という円柱の下に赤字で示した COC 事業と COC+事業が柱です。COC は center of community の頭文字ですが、文部科学省の評価で全国ベスト 1 です。また国際的・全国的な教育・研究拠点として、私どもは研究の円柱に赤字で強調した生命科学分野 [生命の鎖] 統合研究センター、環境エネルギー科学分野 次世代エネルギー研究センター、ものづくり分野 スマート金型・複合材料研究分野、さらに教育の円柱に属する医学教育開発センターが、いずれも国から大きな支援を得ている強力な拠点です。

では将来ビジョンに示す戦略と取り組みのうち、今日はとくに「地域活性化の中核拠点」と「国際貢献」という観点の連関についてお話しします。私ども岐阜大学が理念とする「地域」はたとえば県や市、中部地区にとどまるものではなく、全国さらにはグローバルな貢献の発射台となる広さという概念です。またグローバルという場合の対象も漠然と全世界を言うのではなく、例えば岐阜という一地域と海外の一地域との連携を具体的に想定したものであり、新しいタームである「グローカル」という用語を用いて表現するのが、最も相応しいと思います。またその活動も双方の地域における需要に対応したものでなければなりません。そのためには教職員、学生が一体となって日本の、世界の要望にそぐう課題探求と課題解決に邁進する必要があり、従って学外へ、さらに世界へ出て行くことが重要です。特に新入生諸君には、どのような分野、対象であれ「広く日本社会にも、

国際社会にも貢献できる人材になる」という志を抱いて頂きたいと願います。

岐阜大学の海外協定大学は 47 に及び、年間 600 名を超える外国人学生あるいは研究者が滞在し、キャンパスにはいつも 300～400 名の外国人留学生がいます。皆さん英語は今日の新生程度には話して下さいますし、日本語の上手な方も少なくありません。せっかくのチャンスですからどんどん国際的な交流に努めて下さい。また皆さん自身も出来るだけ早い機会に海外への飛躍にも挑戦して下さい。本学からは既に学部学生の段階で国際的な研究コンテストにチャレンジし、例えば宇宙工学、遺伝子生物学、建設工学などの分野で入賞する学生が輩出されつつあります。岐阜大学には、学生のこのような海外挑戦を支援する仕組みがかなり充実しています。

なお岐阜大学のホームページには昨年小生がノーベル物理学賞受賞者の益川敏秀先生と対談させて頂いた折の、先生からのメッセージが掲載されており、後ほど配布されるガイダンス用資料にもハンドアウトが挟んであります。「若い人には、憧れとロマンを持ってほしい。それに近づく努力が成長への力になる」です。これから「広く日本社会にも、国際社会にも貢献できる人材になる」べく成長する諸君に、まさにお届けしたいメッセージです。

また、東京オリンピックに向けてその重要性が高まっている大学スポーツについても、岐阜大学の現状をお話しします。ハンドボール、アメリカンフットボールなどは中部地区に於ける強豪ですが、とくに個人種目については最近 2 年間でも全国大学競技大会すなわちインカレで、優勝者、準優勝者が陸上競技の走り高跳び、ビームライフルで出ています。部活の施設も充実していますので、スポーツも、さらに落語や邦楽など古典芸能を含めた文化系の活動も楽しんで下さい。

最後に私ども教職員自身の覚悟を申し上げます。岐阜大学は先に述べた理念を実行出来る人材を育てる場です。教職員自身も常に自分がそうであるべく、新入生諸君とともに努力を重ねるのは当然です。ともによき大学人であるべく手を携えて進んでいきましょう。

以上、今日からのキャンパスライフを大いに充実したものとし、また楽しんで下さいと申し上げます、告辞を閉じます。

本日はおめでとうございました。

平成 30 年 4 月 7 日

岐阜大学長
森脇久隆

学長告辞

平成 30 年度岐阜大学大学院入学式

岐阜大学大学院へのご入学おめでとうございます。本日、610 名の平成 30 年度大学院入学者を迎えることは、私どもにとってこれ以上ない喜びであり、岐阜大学教職員を代表して心から歓迎します。さらにこの場をお借りして、大学院進学に至るまで皆さんを支えて下さった方々、諸先輩にもお祝いとお礼を申し上げます。

私ども岐阜大学には4つの大学院前期課程、2つの大学院後期課程に加え、岐阜大学を基幹校とする3つの連合大学院があります。連合大学院のうち本日は岐阜薬科大学と構成される連合創薬医療情報研究科入学の皆さんが、教職大学院入学の社会人の皆さんとともに出席されています。この為、稲垣隆司岐阜薬科大学長もご列席下さっています。なお大学院前期課程である自然科学技術研究科は昨年創設され、工学、応用生物科学、再生医科学を融合し、とくにデザイン思考教育を付加価値とする課程であり、今後、岐阜大学の教育で中核的特徴を形成するものです。また教職大学院も同じく昨年拡大され、とくに学校管理職教育の強化が特徴です。

さて岐阜大学は「人が育つ場所」を謳っています。私どもの側から申し上げると人材を育成する場所です。ではどういう人材を大学院で育てたいのか？「学び究め貢献する」ことができる人材です。とくに強調したいキーワードは貢献です。地域貢献という言葉がすぐ浮かぶかと思いますが、私ども岐阜大学の理念における「地域貢献」はたとえば県や市、中部地区にとどまるものではもちろんなく、全国、さらにはグローバルな貢献まで視野に入れたものです。また民間企業や自治体などから何らかの要請を受けて大学院に進学された入学者も少なくありません。そのような方々は特にそれぞれが所属される場における需要に対応した貢献ができる高度職業人として大学院を卒業されることが予め期待されています。大学院入学者には学部卒とは異なった高度機能が要求されているわけで、「学び究める」内容もおのずから到達目標が規定されるものと思います。

ただし、大学院に於ける勉強の成果が卒業時にすぐ発揮出来る場合は極めて少なく、社会貢献として還元できるまでには大学院卒業から就職を経て合計20年くらいはかかるということを十分覚悟しておいて下さい。さらにこの間を高度職業人として生き抜くうえで、大学院では何を身に着けておくかも、十分考えて下さい。私ども岐阜大学の教職員は何時でもそのような相談に応じるべく用意が出来ているつもりです。

一方で、博士前期課程修了後、コースによっては博士後期課程への進学も大変魅力的な進路です。これは特に研究職を志望する方々が対象になります。ノーベル賞級の研究成果が

多くは30歳前後で出ていることは事実であり、研究者を駆り立てるのは、どのような分野であれ、若い時に抱く夢のような発想です。そのような夢が自然科学、人文科学、社会科学の様々な分野でブレークスルーを生んできました。先に申し上げたこととは相いれないと感じられる方もいらっしゃると思いますが、どのような勉強であれ持続こそが力です。持続をもたらすモチベーションを生む要因の一つが夢です。高度職業人として自分の将来をしっかりと見つめる、あるいは研究者を志向し、しっかりと夢を持ち続ける、そんな大学院生として岐阜大学を楽しみ、かつ利用して頂ければと思います。

今日から諸君と一緒に送る大学院生活を大いに楽しみにしていると申し上げ、学長告辞とします。

本日は誠にありがとうございました。

平成30年4月7日

岐阜大学長
森脇久隆

平成30年度連合農学研究科・連合獣医学研究科入学式を挙

本学は、4月13日（金）、平成30年度連合農学研究科・連合獣医学研究科入学式を本学講堂にて行い、連合農学研究科博士課程21名、連合獣医学研究科博士課程11名が入学した。

入学生への告辞で森脇学長は「高度職業人として自分の将来をしっかりと見つめる、あるいは研究者を志向ししっかりと夢を持ち続ける、そんな大学院生として連合大学院を楽しみ、かつ利用して頂ければ」と激励した。

式典では、入学生を代表して連合獣医学研究科の金井俊貴さんが宣誓を行った。



学長告辞



大学院入学生宣誓

学長告辞

平成 30 年度岐阜大学連合大学院入学式

岐阜大学を基幹校とする連合獣医学研究科、連合農学研究科へのご入学おめでとうございます。本日、それぞれ 11 名、21 名の平成 30 年度入学者を迎えることは、私どもにとってこれ以上ない喜びであり、連合大学院の教職員を代表して心から歓迎します。さらにこの場をお借りして、大学院進学に至るまで諸君を支えて下さった皆様方にも衷心よりお祝い申し上げます。

さて今日、新入生を迎える二つの連合大学院はいずれも 20 年を超える歴史を有し、伝統的に外国人留学生と社会人入学者比率が高いことが特徴です。今年度も留学生比率 28%、社会人比率 41%です。これらの方々は外国の行政機関や教育研究機関、あるいは日本の民間企業や自治体などから何らかの要請を受けて大学院に進学されました。さらに学部からのストレート・マスター、ストレート・ドクターの皆さんを含め、すなわち大学院進学 of 動機にかかわらず、将来それぞれが所属される場における職務に相応しい貢献ができる、とくにグローバルな貢献ができる高度職業人として大学院を卒業されることが期待されています。連合大学院卒業者には一段と高度な専門職としての機能が要求されているわけで、学修内容も、さらに論文として表される到達目標もおのずから高いレベルに規定されます。

ただし一つ申し上げておきたいことは、大学院における勉強の成果が卒業時にすぐ出るものではなく、社会貢献あるいはグローバルな貢献として還元できるまでには大学院卒業から合計 20 年くらいはかかる場合も少なくないということです。同時に高度職業人としてその間を生き抜くうえで、予め大学院在学中に何を身に付けておくかも、十分考えて下さい。私ども連合大学院の教職員は何時でもそのような相談に応じる用意が来ているつもりです。

また企業や政府機関を足場としたグローバルな社会貢献に加えて、大学という研究機関において勉強を続けることも大変魅力的な進路であり、将来研究者を志望する方々の増加も期待します。ノーベル賞級の研究成果が多くは 30 歳前後で、すなわち大学院在学前後で出ていることは事実であり、その時期において得られた、夢のような発想が自然科学、社会科学の様々な分野でブレークスルーを生んできたからです。またそのような発想をさらに展開させるためには、どんな領域であれ勉強・研究の持続こそが力です。

なお岐阜大学のホームページには昨年小生がノーベル物理学賞受賞者の益川敏英先生と対談させて頂いた折の、先生からのメッセージが掲載されています。「若い人には、憧れとロマンを持ってほしい。それに近づく努力が成長への力になる」です。これから「広く日本

社会にも、国際社会にも貢献できる人材になる」べく成長する諸君に、まさにお届けしたいメッセージです。

以上、皆さんには高度職業人として自分の将来をしっかりと見つめる、あるいは研究者を志向ししっかりと夢を持ち続ける、そんな大学院生として連合大学院を楽しみ、かつ利用して頂ければと思います。

今日から諸君と一緒に送る大学院生活を大いに楽しみにしていると申し上げ、学長告辞とします。

本日はおめでとうございます。

平成 30 年 4 月 13 日

岐阜大学長
森脇久隆

応援奨学生決定通知書交付式を実施

4月9日（月）、平成30年度岐阜大学応援奨学生に対し決定通知書交付式が行われた。

岐阜大学では、平成22年度から“岐阜大学基金”による事業の一環として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となる学生に奨学金を支給することにより、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に、応援奨学生の制度を実施している。30年度は各学部、各研究科より推薦を受け、24名の応援奨学生が決定した。

交付式では、森脇学長から通知書が手渡され、「岐阜大学基金の支援事業の趣旨を十分理解し、さらに勉学に励み、有意義な学生生活を送ってもらえることと期待しています。」とあいさつがあった。

応援奨学生を代表して、工学部機械工学科の西脇正就さんが「応援奨学生の制度が現職の教職員、OB、一般社会の皆様からの寄付によって成り立っていることを忘れず、いただいた奨学金を最大限活用して学業に専念していきたい」と抱負を述べた。

西脇さんは今後、この奨学金を利用してアメリカへ留学し、語学学習に活用できればとしっかりとした目標を語った。



決定通知書を受け取る西脇さん



奨学生を前にあいさつをする森脇学長



集合写真

サラマンカ大学，岐阜薬科大学，岐阜大学三大学連携学術シンポジウム
「がん研究の最前線 ～がん克服に向けて（対がん）～」を開催

平成 30 年 4 月 14 日（土），サラマンカ大学からリカルド・リベロ・オルテガ総長一行が岐阜を訪問され，OKB ふれあい会館で催されたサラマンカ大学創立 800 周年記念事業において，サラマンカ大学・岐阜薬科大学・岐阜大学三大学学術連携シンポジウムが開催された。

本シンポジウムは，平成 29 年 11 月 9 日（木）にサラマンカ大学にて取り交わされた基本合意で謳われている，定期的シンポジウムの開催の第 1 回目に当たる。

テーマは「がん研究の最前線 ～がん克服に向けて（対がん）～」で，岐阜大学 鈴木文昭理事（国際・広報担当）・副学長及び岐阜薬科大学 原英彰副学長兼研究科長が座長を務め，三大学から各 2 名または 3 名が講演し，約 110 名の参加があった。

シンポジウムでは，岐阜大学 森脇久隆学長とサラマンカ大学 リベロ総長の挨拶から始まり，岐阜薬科大学創薬化学大講座薬化学研究室 平山祐准教授による「二価鉄イオン検出のための多様な蛍光プローブ開発研究」，同生命薬学大講座生化学研究室 遠藤智史講師による「マルチターゲット型去勢抵抗性前立腺癌治療薬の創製研究」，岐阜大学連合創薬医療情報研究科 赤尾幸博特任教授による「K-Ras 変異がんに対するマイクロ RNA 医薬の開発」，同応用生物科学部共同獣医学科 森崇 教授と連合創薬医療情報研究科 平島一輝特任助教による「イヌモデルを用いたマイクロ RNA 核酸医薬およびバイオマーカーの開発」，サラマンカ大学科学高等研究センター がん研究センター ホセ・ブステロ博士による「がんにおける治療標的候補としての Rho GTPase アクチベーターの遺伝学的同定および検証」，そして同バイオメディカル研究所 ヘスス・マリア・エルナンデス・リバス博士による「血液系腫瘍の予後改善プロジェクトに関するビッグデータ」の 6 講演があった。講演後には活発な質疑応答があり，最後に，岐阜薬科大学 稲垣隆司学長の挨拶で本シンポジウムが閉じられた。

本シンポジウムでは，特定のテーマに関して，三大学間での交流の機会を得る有益な機会となった。岐阜大学は，岐阜薬科大学，サラマンカ大学とともに医学，薬学を中心に，関連する分野との連携を重視して学際的な発展を目指す学術交流を行う。



本学・森脇学長からの開会挨拶



サラマンカ大学・リベロ総長の挨拶



座長を務めた岐阜薬科大学・原副学長（左）と本学・鈴木理事



岐阜大学・赤尾特任教授による講演



岐阜大学・森教授と平島特任助教による講演



サラマンカ大学・ブステロ博士による講演

岐阜大学，岐阜薬科大学，サラマンカ大学の三大学間で学術連携基本協定を締結

平成 30 年 4 月 14 日（土），サラマンカ大学創立 800 周年記念事業で三大学連携学術シンポジウムが開催された後，岐阜大学・岐阜薬科大学・サラマンカ大学の三大学間で学術連携基本協定を締結した。古田肇岐阜県知事立会いのもと，岐阜大学森脇久隆学長，岐阜薬科大学稲垣隆司学長及びサラマンカ大学リカルド・リベロ・オルテガ総長が協定にサインし，相互の連携を約束した。

本協定では，学術研究の交流を進めるため，医学，薬学を中心に，関連する分野との連携を重視して学際的な発展を目指す学術交流を行うこと，第 2 回のシンポジウムは 2019 年にサラマンカ（スペイン）において開催されることなどが合意された。

また，協定締結式の後，サラマンカ大学創立 800 周年記念コンサートがサラマンカホールで開催され，その後の交流会では，本学邦楽部が演奏を披露し，スペインからの訪問者らを魅了した。

岐阜大学は，岐阜薬科大学，サラマンカ大学とともに大学間での連携をさらに深めていく。



古田知事（左端）立会いのもと，本学森脇学長（左から 2 番目）とサラマンカ大学リベロ総長（右から 2 番目），岐阜薬科大学稲垣学長（右端）との三大学間で学術連携基本協定を締結



交流会での本学邦楽部の演奏

教育学研究科1年 小長谷 研二さん 日本選手権 50m 平泳ぎで4位入賞

平成30年4月2日（月）～8日（日）に東京都の東京辰巳国際水泳場で行われました「第94回（2018年度）日本選手権水泳競技大会」において「男子50m 平泳ぎ」に出場した岐阜大学大学院教育学研究科1年（春日研究室） 小長谷研二さんが4位入賞した。

この大会は、水泳競技日本一を決める水泳大会で、第18回アジア大会代表選手選考会 兼 第13回パンパシフィック大会代表選手選考会も兼ねている。今大会で入賞した小長谷研二さんは2016年の夏にブラジルで行われたリオデジャネイロオリンピック 競泳男子400メートルリレー代表選手でも活躍した。

小長谷さんは、4月17日（火）、指導教員である春日教授とともに、学長室を訪問し、受賞の喜びを森脇学長に伝えた。小長谷さんは、「専門種目はクロールであるが、最近は平泳ぎの種目にも幅を広げてきた。今後もリオデジャネイロオリンピック等経験したベテランならではの経験と技術を活かしたい」と報告した。森脇学長は、「大学院で勉学にも励みつつ、技術だけでなく、教育学を理解した指導者として日本の水泳界を引っ張ってほしい」と称した。

今後、小長谷さんは大学院で勉学に励みつつ、2年後の東京オリンピックの出場を目指す。また、岐阜大学水泳部のコーチとして練習方法だけでなく、泳ぎの質を意識した指導も行い、次に活躍する選手の育成もしていく予定である。



学長報告の様子



第94回（2018年度）日本選手権水泳競技大会賞状



リオデジャネイロオリンピック入賞の賞状とともに記念撮影（左：森脇学長、中：小長谷さん、右：春日教授）

平成30年度第1回学長記者会見を実施

本学は、4月18日（水）に、平成30年度第1回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から「岐阜大学の将来ビジョンにおける平成30年度の活動について」、岐阜大学の将来ビジョンと航空写真を用いながら説明を行った。また、平成30年4月1日より、新役員の交代に伴い、役員の紹介も行った。

森脇学長は、今後岐阜大学で完成予定であるスマート金型開発拠点、岐阜県食品科学研究所、保育園、学術アーカイブ他について説明した。

岐阜大学の強みとなるスマート金型開発拠点は、平成30年6月7日に開所する予定であり、データ処理、センシング技術、IoTとAIをものづくりに組み込む形で企業と共同で研究を進める予定である。

また、来年2019年には本学は創立70周年を迎える。創立記念日である6月1日には本学に保存されている貴重な植物、郷土史、歴史的物品を学術アーカイブとして保存するキャンパスマuseumを公開する予定である。

岐阜大学は今年度も地域活性化の中核拠点であると同時に、強み・特色を有する分野において全国的・国際的な教育・研究拠点の形成を目指す。



森脇学長による将来ビジョンを用いて説明の様子



学長記者会見の様子

平成 30 年度岐阜大学海外留学フェアを開催

4 月 18 日（水）グローバル推進本部主催『平成 30 年度岐阜大学海外留学フェア』を開催しました。本フェアは、留学に必要とされる語学力や岐阜大学における留学プログラムに関する情報提供及び留学の促進を目的として、平成 24 年度から開催している。

グローバル推進本部長 鈴木文昭 理事（国際・広報担当）・副学長の挨拶から始まり、実施プログラムに沿って進行された。

初めに、国際教育交換協議会及び公益財団法人日本英語検定協会の担当者から、英語能力試験（TOEFL iBT 及び IELTS）が国際的な語学基準として利用されていること、試験の特徴等について説明があった。続いて、サマースクールプログラム、交換留学及び文部科学省主催・官民協働海外留学支援制度『トビタテ！留学 JAPAN』により留学した学生から、海外生活を通して生まれた変化、多様な文化の発見、国際的なネットワークの構築等、貴重な経験ができたことの発表があった。途中、部局実施プログラムについての説明があり、最後に、山本眞由美保健管理センター長から、留学時の医療的準備と自己健康管理について説明があった。

70 名の参加者は各担当者の説明や留学経験者の体験談に熱心に聞き入り、フェア終了後に個別質問をする等、参加者から留学への関心の高さが伺えた。



フェア当日の様子

工学部化学・生命工学科の成瀬 有二准教授らのグループが、平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」を受賞

工学部化学・生命工学科の成瀬 有二 准教授らのグループが、平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」を受賞した。

本賞は、青少年をはじめ広く国民の科学技術に関する関心及び理解の増進等に寄与し、又は地域において科学技術に関する知識の普及啓発等に寄与する活動を行った個人又はグループを対象に贈られる賞である。

今回の受賞対象となった理解増進活動は、2005年日本国際博覧会（愛・地球博）を端緒とする国際宇宙ステーション（ISS）に乗務する宇宙飛行士と小中学生たちとのアマチュア無線による音声交信（ARISS スクールコンタクト）を継続的に東海4県内で8回実施（愛知県内6回、岐阜県内1回）およびサポート（愛知県内1回）・講演（2回）、並びに東海4県（静岡、岐阜、愛知、三重）および名古屋市内で延べ30回開催した（参加者延べ約1500人余）個別対応の電子工作教室などである。これらの活動は、主担当者・副担当者として参加した科学技術振興機構（JST）の「地域の科学舎」事業に、延べ6テーマ採択されている。また、平成23年度の内閣府他主催「科学・技術フェスタ in 京都」への出展など高く評価されているものである。

成瀬准教授は、4月23日（月）、学長室を訪問し、受賞を森脇学長に報告した。成瀬准教授は、「子どもたちに「作ることがおもしろい」という感覚を伝えることができた。今後この活動を継続していきたい」と報告した。森脇学長は、「これだけ長い期間取り組んできた成果である。幼い頃に学んだ生徒が今教える立場になっているということは教育の循環がしっかりできている。次世代の子どもたちを育てることは非常に重要であり、地域教育、社会貢献としてこれからも活動を続けて欲しい」と称えた。



受賞会場（文部科学省）での様子



学長報告（左：森脇学長，成瀬准教授）

岐阜大学学生レポートコンテスト表彰式（平成29年度分）を開催

4月25日（水），平成29年度分の岐阜大学学生レポートコンテストの表彰式がアカデミック・コアにて行われた。

学生レポートコンテストは，①優れたレポート及びその作者を顕彰することで，学生の意欲的な学びを奨励すること，②優れたレポートを公開することで，後々の学生がお手本にできる教材を提供することを目的として毎年開催しているものである。

表彰式では，森脇久隆学長等，関係者らが見守るなか，教育推進・学生支援機構の海野年弘前学修支援部門長から，以下の3名に表彰状と副賞が授与され，受賞者による作品の紹介があった。

最優秀賞 工学部4年・霜田晃希さん

「ポーカー型対戦ゲームの数学的理論と設計」

優秀賞 地域科学部2年・中村真子さん

「『銀河鉄道の夜』アダプテーション研究」

佳作 地域科学部2年・穴田晴香さん

「イスラム教徒はテロリストなのか 西洋のイスラム認識をめぐって」

受賞者の穴田さんは「研究・レポート作成を進めていく上で，レポートの書き方，参考文献の表記の仕方も学ぶことができた。」と報告した。

森脇学長からは「言語を問わず，『書く』ことは重要である。これからもトレーニングして欲しい。また，本を読まない人が増えている中，様々な本を読むことは素晴らしい。」と称えた。

なお、今回の受賞作品は「岐阜大学教育推進・学生支援機構年報第4号」に掲載して、公開する予定である。



表彰状を受け取る中村さん



レポートの紹介をする穴田さん



受賞者へのコメントをする森脇学長



集合写真

平成 29 年度岐阜大学 TOEIC スコアアッププロジェクト認定証交付式を実施

4 月 26 日(木)、岐阜大学 TOEIC スコアアッププロジェクト認定証交付式を実施した。

本プロジェクトは、TOEIC テストにおいて 800 点以上を取得した一般職員（事務職員及び技術職員）に対して奨学金を贈呈し、さらなる研鑽を奨励するものである。

交付式では、鈴木文昭グローバル推進本部長より、平成 29 年度に認定された 4 名に認定証が交付された。その後、鈴木グローバル推進本部長、野々村国際企画調整役との懇談が行われた。野々村国際企画調整役からの「英語をどのように学習していますか。」という問いかけに対して、「通勤中にリスニングの練習を行っている。」や「多読（英語の本をたくさん読む方法）を行っている。」等の回答があった。また、普段の業務での英語を活用する機会や、今後、自身の語学力をどのように活かしていきたいかといった話題で懇談は進められた。

本学は、語学に堪能な職員を全学的に増やし、事務の国際化とサービスの向上を図っていく。



認定証交付後の集合写真



懇談の様子

プログラミング教育の人材育成するプロジェクトを開始

本学は、4月26日（木）に記者会見にて、本学教育学部附属学習協創開発研究センター、岐阜市教育委員会、NPO 法人 CANVAS、日本マイクロソフト株式会社が連携し、プログラミング教育の人材育成するプロジェクトを開始することを発表した。

本事業は、現在、平成 29 年 3 月に公示された小学校学習指導要領総則を受け、プログラミング的思考などを育成する「プログラミング教育」が注目されている中、本学教育学部でプログラミング教育について知ることを目的とした「基礎プログラム」、プログラミング教育を設計するための知識やスキルを習得するための「応用プログラム」、応用プログラムで設計したプログラミングを実施するための知識やスキルを習得し、実際に小学生を対象とした実地研修を通してファシリテーション技術を身につけることを目的とした「実地プログラム」の3つのプログラムで構成され、学生はマイクロソフト製のマイクロビットを使用し、学ぶというプログラミング教育の人材育成を開始する。

記者会見で別府教育学部長は「プログラミング教育を行える教員をしっかりと養成する」と述べた。

今後、教育学部におけるプログラミング教員の育成が期待される。



連携する4者（左から2人目：別府教育学部長）

概要を述べる村瀬 康一郎プロジェクト代表（教育学部附属学習協創開発研究センター教授）

カリキュラム詳細を説明する今井亜湖教育学部准教授

第1回 国際協働教育部門セミナー『JD 専攻の魅力』を開催

4月26日（木）グローバル推進本部国際協働教育部門主催による第1回国際協働教育部門セミナー『JD 専攻の魅力』を開催した。本学は、国際化の推進と教育研究力のさらなる向上を図るため、平成31年度に海外協定大学のインド工科大学グワハティ校（IITG）およびマレーシア国民大学（UKM）とそれぞれ協働し、4つの国際連携専攻（ジョイント・ディグリープログラム：通称JD）を開設することを計画している。

今回のセミナーでは柴田大輔氏（かずさDNA研究所産官学連携推進センター長）を講師としてお招きし、「インド工科大学グワハティ校との国際連携食品科学技術専攻～産業界の視点から見た魅力と期待～」という題目で講演を行っていただいた。

講演の中で柴田氏から、北東インドの中核大学インド工科大学グワハティ校との国際連携専攻が育成する人材と、国際的な産学連携プラットフォーム提供に対して、産業界の視点から見た期待と魅力について語っていただいた。特に「世界では何が起きているか？」「日本では何が起こるか？」「なぜインドか？」「今、なぜ食品科学か？」などのトピックについて柴田氏の視点をご提示いただいた。講演の最後には、学生に向けた「まずは飛び込み、チャレンジしてみよう。」というメッセージをいただいた。

今回のセミナーには学生や教職員合わせて約70名の参加がありましたが、広い世界に目を向けることの重要性を感じることであった非常に有益なセミナーとなった。グローバル推進本部国際協働教育部門では、今後も今回のようなセミナーを継続して開催していく。



セミナーの様子



柴田大輔氏

平成30年度第2回学長記者会見を実施

本学は、4月27日（金）に、平成30年度第2回学長記者会見を実施した。

この会見では、国立大学法人岐阜大学と学校法人岐阜済美学院 中部学院大学・中部学院大学短期大学部との大学間協定の締結をとりあげ、記者会見に併せて締結式を行った。

この協定は、岐阜大学と中部学院大学及び中部学院大学短期大学部は連携協力し、両大学の教育研究の向上を図ることを目的として協定を締結した。

具体的な連携事項としては

- (1) 両大学の学生の交流、共同学習に関すること
- (2) 両大学の教職員による共同研究等に関すること
- (3) 両大学が有している人的資源や物的資源、情報等の活用に関すること
- (4) その他連携・協力にかかる必要事項

を協力する。

締結にあたり森脇学長は「長い間互いに協力してきたが、更に広い範囲で連携を進めていけることが大変楽しみである。」と述べ、古田中部学院大学長と片桐中部学院大学短期大学長と協定を取り交わした。

今後、特別支援教育における日本型教育システムの輸出、さらにはASEAN諸国に展開していく等、様々な連携を進めていく予定である。



挨拶をする森脇学長



左：古田中部学院大学長，中：森脇岐阜大学学長
右：片桐中部学院大学短期大学長

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
甲第1078号	博士(医学)	野村 悠一	平成30年4月18日	Characteristics of time-activity curves obtained from dynamic 11C-methionine PET in common primary brain tumors (脳腫瘍におけるダイナミック11C-メチオニンPETの時間放射能曲線の特徴)

平成30年春の生存者叙勲 ―本学関係者5名が受章―

平成30年春の生存者叙勲が4月29日に発表され、本学関係者では次の方々が受章された。

教育研究功労

瑞宝中綬章 小山田 隆明（名誉教授、元教育学部教授）

瑞宝中綬章 北澤 克明（名誉教授、元医学部教授）

瑞宝中綬章 後藤 宗弘（名誉教授、元工学部教授）

保健衛生功労

瑞宝単光章 古田 伸行（元医学部附属病院検査部臨床検査技師長）

文部行政事務功労

瑞宝双光章 塩見 弥一（元庶務部長）

表彰受賞者

日本鑄造工学会東海支部 堤記念賞 受賞

受賞者：新川 真人 工学部准教授

業績名：アルミニウム合金ダイカストの金型の変形と損傷及び製品品質に関する研究

受賞日：平成30年4月6日

Symposium Award 受賞

受賞者：村井 利明 工学部教授

業績名：Symposium Award (INTERNATIONAL CONGRESS ON PURE & APPLIED CHEMISTRY 2018)

受賞日：平成30年4月12日

文部科学大臣表彰 科学技術賞 理解増進部門 受賞

受賞者：成瀬 有二 工学部准教授

業績名：宇宙飛行士との交信体験による子供向け無線科学の理解増進

受賞日：平成30年4月17日

外国人研究者の受け入れ（4月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
科学研究 基盤セン ター	エルシャルカウィ モハマド モウセン ELSharkawy Mohamed Mohsen (エジプト)	カフルエルシェイク大学 講師 Lecturer, Kafr el Sheikh University	2018/4/1～ 2018/8/4	植物生育促進菌類によるキュウリモザイクウイルスに対する全身抵抗性誘導 Induction of systemic resistance against Cucumber mosaic virus by plant growth promoting fungi
医学系研 究科	モスタファ アリ アマダウィ サリム Mostafa Ali Elmadawy Salim (エジプト)	カフルエルシェイク大学 講師 Lecturer, Kafr el Sheikh University	2018/4/1～ 2018/7/31	エジプトで飼育されているGerman犬とbaladi犬のミト コンドリアDNA解析に関する研究 mtDNA analysis for two dog breeds more commonly present in Egypt German dogs and Egyptian baladi dogs

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成30年4月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	王 志剛	日本パーカライジング(株)
工学部	板谷 義紀	三菱マテリアル(株)
医学部附属病院	岡田 英志	旭化成ファーマ(株)
工学部	山田 宏尚	アイコクアルファ(株)
工学部	仲井 朝美	キャノン(株)
工学部	菊池 聡	(株)ドリームバンク
工学部	藤原 裕之	(株)野田スクリーン
地域科学部	合掌 顕	ジェックスインターナショナル(株)
工学部	竹森 洋	大幸薬品(株)
応用生物科学部	柳瀬 笑子	長良サイエンス(株)
情報連携統括本部	村上 茂之	(株)アプリコア MSIS
工学部	菊池 聡	(株)ドリームバンク
応用生物科学部	岩本 悟志	(株)コモ
工学部	宮坂 武志	(公財)科学技術交流財団
工学部	川崎 晴久	(株)レオニックス

○受託研究

(平成30年4月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学部附属病院	岩田 尚	EP クルーズ(株)
医学系研究科	山本 哲也	筑波大学
応用生物科学部	松原 陽一	国立研究開発法人科学技術振興機構
医学部附属病院	大野 康	EP クルーズ(株)
医学部附属病院	吉田 和弘	公益財団法人がん集学的治療研究財団
応用生物科学部	柳井 徳磨	小野薬品工業(株)
医学系研究科	松尾 政之	近土写真製版(株)
応用生物科学部	浅井 鉄夫	内閣府食品安全委員会事務局
工学部	久武 信太郎	国立研究開発法人 科学技術振興機構
工学部	寺田 和憲	総務省信越総合通信局

メディア掲載一覧

○新聞

(平成30年4月分)

掲載日	新聞名	内容
4月1日	読売	高度な医療 岐阜大病院に救急外傷部門 救命率向上へ ～医学部附属病院～
4月2日	岐阜	岐阜大学病院 新体制発足記念「最高の病院」へ挑戦続く 小倉真治前病院長, 吉田和弘新病院長対談 ～医学部附属病院 小倉真治前病院長, 吉田和弘新病院長～
4月3日	岐阜	役員人事を岐阜大発表
4月3日	中日	新しい役員 岐阜大発表
4月3日	中日	大学院に研究科設置へ 共同獣医学で岐阜大と鳥取大 来春, 全国3例目
4月3日	岐阜	◎研究室から大学はいま: 流域水環境リーダー育成 ～流域圏科学研究センター 石黒泰助 助教～
4月3日	日本経済	「ドクターカー」岐阜大病院開始 救命率向上目指す ～医学部附属病院～
4月4日	朝日	共同獣医学研究科 岐阜大と鳥取大 設置準備進める
4月5日	中日	平成三十年度 躍進する大学の学長メッセージ: 地域活性化の中核拠点から国際的な教育・研究を発信し続けます ～森脇久隆 学長～
4月5日	岐阜	岐阜大学シティカレッジプログラム 【難病など耳の病気と対処法】 ～医学部附属病院 青木光弘 教授～
4月6日	読売	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議㊟: お米とあられ 「ハツシモ」粒が大きい ～教育学部 大藪千穂 教授～
4月7日	中日	岐阜大学シティカレッジプログラム 【あなたの知らない糖尿病の世界】 ～医学系研究科内分泌代謝病態学分野 堀川幸男 臨床教授～
4月9日	中日	「しっかり学業に励む」 岐阜大 1957 人が入学式
4月9日	岐阜	学業・研究, 努力誓う 岐阜大入学式, 1347 人が第一歩
4月10日	岐阜	◎研究室から大学はいま: 公認心理師養成スタート ～教育学部学校教育講座 板倉憲政 助教～
4月10日	毎日	岐阜大, 24 人を応援奨学生に 通知書交付 ～工学部機械工学科 2 年 西脇正就さん～
4月11日	岐阜	分水嶺 ～教育学部 大藪千穂 教授～
4月12日	中日	「起業家精神を持って」 県信用保証協 岐阜大院生に講義 ～自

		然科学技術研究科の学生約 250 人～
4 月 12 日	中日	防犯の注意点 留学生に伝授 岐阜南署など ～ネパール出身留学生 タマング・ラム・マヤさん～
4 月 12 日	岐阜	県信用保証協会 学生に創業解説 岐阜大で出張講義 ～自然科学技術研究科の学生約 250 人～
4 月 12 日	岐阜	本年度奨学生 24 人 決定通知書を交付 岐阜大 ～工学部機械工学科 2 年 西脇正就さん～
4 月 13 日	岐阜	岐阜大が無料サイト「ガッコ」活用 オンラインで防災講座 全 4 回, 減災へ人材育成 ～流域圏科学研究センター 小山真紀 准教授～
4 月 13 日	中日	「交通事故減らせれば」 バイクの岐阜大生死亡 現場で母親献花
4 月 14 日	岐阜	農学・獣医学, 探究の誓い 岐阜大大学院 連合研究科が入学式
4 月 14 日	岐阜	シートベルト効果実感 岐阜大生が自己の衝撃体験 ～工学部 1 年 渡邊佳菜さん～
4 月 15 日	中日	サラマンカ大と協定 岐阜大と岐阜薬科大 学術交流で知見深める
4 月 15 日	読売	スペインの大学と連携 岐阜大・岐阜薬大 医学・薬学で交流へ
4 月 15 日	中日	◎キャンパスイチ推し: 選手サポートに試行錯誤 岐阜大アメリカンフットボール部 ～教育学部 4 年 榎谷悠香子さん～
4 月 15 日	読売	新素材で歩行サポート 県工技研 産官学で 軽量の下肢装具開発
4 月 16 日	読売	家事の基本 男性向けに 岐阜市がハンドブック ～教育学部 大藪千穂 教授～
4 月 16 日	中日	進む がんゲノム医療 美濃加茂 木沢記念 国の連携病院に
4 月 17 日	岐阜	◎研究室から大学はいま: バイオマスで地域活性化 ～工学研究科 環境エネルギーシステム専攻 小林信介 准教授～
4 月 18 日	日本経済	岐阜大病院や大和ハウス 最先端のがん治療施設 建設計画が始動 22 年開設めざす ～医学部附属病院～
4 月 18 日	日本経済	マンションで森林浴 ヤマガタヤ産業, ヒノキ製「小部屋」
4 月 18 日	岐阜	岐阜大センターに感謝状 SA でも県内商品販促法提案 中日本高速 ～地域協学センター～
4 月 18 日	中日	日本水泳平泳ぎで 4 位入賞 小長谷選手 岐大学長に報告 ～教育学研究科 小長谷研二さん～
4 月 18 日	岐阜	今春, 岐阜大大学院入学 競泳・小長谷選手「学業にも励む」 学長に大会成果報告 ～教育学研究科 小長谷研二さん～
4 月 18 日	岐阜	清流の国ジュニアアスリート 4 期生に認定証 ～教育学部附属中学校 岸本采那さん～

4月19日	日本経済	名大・岐阜大 法人統合を協議 周辺大, 静観の構え
4月19日	岐阜	「クマ研」で生態調査 ～「ツキノワグマ研究会」調査隊長, 副会長 砥綿夕里花さん～
4月19日	岐阜	園児, こいのぼり手作り 全長2メートル, 手形や折り紙で飾る ～岐阜大の留学生7名～
4月19日	毎日	救急外傷センター設置 岐阜大病院 救命率向上を目指す
4月19日	岐阜	英語の民間試験 岐阜大は「検討」 共通テスト
4月19日	毎日	「地域活性化に貢献」 岐阜大学長 今年度の活動方針
4月19日	読売	「IoT, AI 活用 施設整備進める」 岐大活動計画
4月19日	朝日	名大と岐阜大 法人統合検討 協議会初会合「年度内にも結論」
4月19日	読売	名大, 岐阜大と統合協議 検討会初会合 年度内合意目指す
4月19日	岐阜	岐阜大と名大, 法人統合へ 年度内に最終合意
4月19日	毎日	名大と岐阜大が法人統合へ協議 年度内合意目指す
4月19日	朝日	法人統合向け初会合 名大, 岐大 年度内合意目指す
4月19日	日本経済	法人統合へ初協議 年度内合意へ課題探る 名大「戦略・資源を共有」 岐阜大「モデル示す使命」
4月19日	岐阜	岐阜大, 2年間の事業概要発表 図書館にアーカイブ室 創立70周年記念
4月19日	日本経済	名大・岐阜大 法人統合の協議 周辺大, 静観の構え
4月20日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議②: アパレル産業 繊維の出荷, 高いシェア ～教育学部 大藪千穂 教授～
4月20日	岐阜	飛騨高山ふるさとを歩こう会代表 乗鞍, 御嶽の自然保護 小野木さん大臣表彰 ～小野木三郎さん～
4月21日	岐阜	梅林公園の池に仕切り網, 保護 ヒキガエル 生息急減 ～地域科学部 向井貴彦 准教授～
4月21日	朝日	◎ひだ人みの: 従業員と顧客の満足に尽力 3月末に任期を終えた 岐阜大・前病院長 小倉真治さん
4月22日	中日	濃尾平野の特徴 小井戸さん講演市 ～小井戸由光 名誉教授～
4月22日	岐阜	悩み共有, 理解求める LGBT サークル「にじねこ」 ～「にじねこ」代表 教育学部2年 吉田達仁さん～
4月22日	岐阜	親子で環境考える 「ぎふ地球塾」開講 海津市 ～渡辺昇 客員教授～
4月22日	日本経済	山焼き実験中火災起こす 秋田, 岐阜大の教員ら
4月22日	中日	「山焼き実験」...3.6ヘクタール焼く
4月22日	岐阜	秋田で山焼き 実験中に火災 岐阜大教員ら

4月22日	中日	「家事メン」育て 料理セミナーや虎の巻作製 生活管理の力向上も 大藪岐阜大教授に聞く ～教育学部 大藪千穂 教授～
4月24日	岐阜	「D 材」でバイオマス発電 捨てられるはずの枝再利用 中部森林管理よく 七宗町で事業実施へ
4月24日	岐阜	◎研究室から大学はいま：中耳加圧器，めまいを抑制 ～医学系研究科耳鼻咽喉科学分野 伊藤八次 教授～
4月24日	岐阜	東海大学野球 ～硬式野球部～
4月24日	岐阜	義務教育学校，方向性探る 北方町で構想検討委が初会合 ～教職大学院 石川秀志 教授～
4月24日	中日	本年度中に基本方針 小中一貫2校 23年度開校目指す ～教職大学院 石川秀志 教授～
4月25日	岐阜	県内の特別支援教育 タイとの交流で成果 ～教育学部 池谷尚剛 教授～
4月25日	中日	名大・岐大の法人統合協議 豊橋技科大「参加せず」
4月25日	日本経済	法人統合「時代の流れ」 名大学長，実現へ意欲
4月26日	中日	大学の再編 学問と地域どう守るか
4月26日	読売	大学再編 生き残りへ始動 名大・岐阜大 法人統合へ協議
4月27日	朝日	指導者の育成へ 岐阜大など連携 プログラミング教育 ～別府 哲 教育学部長～
4月27日	岐阜	プログラミング教員養成 岐阜大と市教委，MS などが協力 カリキュラムを開発 ～別府 哲 教育学部長～
4月27日	中日	プログラミング教育 担い手育成へ連携 岐阜市教委やマイクロソフトなど 岐阜大で専用カリキュラム試行 ～別府 哲 教育学部長～
4月28日	中日	障害者教育を強化 岐阜大など 3校で協定 ～森脇久隆 学長～
4月28日	岐阜	福祉や介護で大学間協定 岐阜大と中部院大・短大 ～森脇久隆 学長～
4月29日	岐阜	叙勲 ～瑞宝中綬章＜教育研究功労＞ 後藤宗弘 名誉教授，瑞宝双光章＜文部行政事務功労＞元岐阜大庶務部長 塩見弥一さん～
4月29日	朝日	海越え共同学位 岐阜大動く インド，マレーシアの大学と来春開設めざす 互いの長所生かし人材育成へ
4月29日	岐阜	◎みんなで防災・減災：熊本地震教訓に細かく被害想定 すぐにごできることから準備 ～清流の国ぎふ防災・減災センター長 杉戸真太 特任教授～
4月30日	岐阜	「よいしょ」笑顔で草餅作り メディコスで親子90組体験 岐阜レ

		ク指導者協議会 ～大学院生 5 人～
4 月 30 日	岐阜	減災テーマに 6 月 3 日講座 県不動産鑑定士協会 ～地域減災センター長 村岡治道 特任准教授～
4 月 30 日	朝日	プログラミング教育 産学官で担い手育成 岐阜大など ～教育学部長 別府 哲 教授～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成 30 年 4 月分)

放送日	番組名	内容
4 月 1 日 ～29 日	ケーブルテレビ CCN 地上デジタル 11ch, 12ch	「ぎだいでずむ」(15 分番組) 4 月 1 日(日)～29 日(日) (日・水・土の週 3 回放送) 地域科学部の取り組みを紹介します
4 月 2 日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2 時 6 時」	『減災ラジオ』 大地震への備え ②あらかじめ備えるべきもの 地域減災研究センター長 能島暢呂 教授
4 月 30 日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2 時 6 時」	『減災ラジオ』 岐阜県の地震への備え 清流の国ぎふ防災・減災センター長 杉戸真太 特任教授

◇第611回 役員会

4月2日（月）

（議事）

1. 休職（起訴）処分事案について

◇第612回 役員会

4月12日（木）

（議事）

1. 学長代理の指名について

◇第1回岐阜大学グローバル推進本部会議

4月16日（月）

（審議事項）

なし

◇第1回教学委員会

4月17日（火）

（審議事項）

1. 教学委員会委員長代理について
2. 委員会の開催日について
3. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
4. 協定大学等のサマースクール等における学修の単位認定について

◇第613回 役員会

4月19日（木）

（議事）

1. 役員会に附議する重要事項について
2. 教育職員雇用申請について
3. 特任教員雇用申請について

◇第1回 部局長・部長会

4月19日（木）

（協議事項）

1. 経営／マネジメント教育部門設置検討ワーキンググループ最終報告書について
2. 東海国立大学機構（仮称）検討協議会（第1回 平成30年4月18日（水））について

◇第169回 教育研究評議会

4月19日（木）

（審議事項）

1. 学長選考会議委員の選出について

◇第1回入学試験専門委員会

岐阜大学学報 30.5

4月25日(水)

(審議事項)

1. 委員長代理について
2. 平成31年度入試以降の入学者選抜検討スケジュール(案)について
3. 平成31年度入学者選抜試験における情報処理日程(案)について
4. 平成32年度以降の3年次編入学出願資格の変更(案)について
5. 平成32年度以降の応用生物科学部推薦入学Ⅰ特別入試の変更(案)について

◇第614回 役員会

4月26日(木)

(議事)

1. 共同研究講座の設置について
2. 平成30年度会計監査人候補者の選定について

主要日誌

月 日	行 事 名
4/ 1	第611回 役員会
7	入学式
12	第612回 役員会
13	連合大学院入学式
16	第1回岐阜大学グローバル推進本部会議
17	第1回教学委員会
19	第613回 役員会
	第1回 部局長・部長会
	第169回 教育研究評議会
23	げんさい楽座
25	第1回入学試験専門委員会
26	第614回 役員会